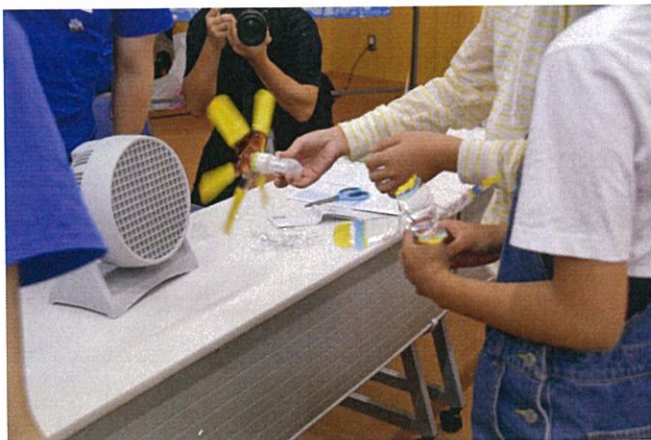
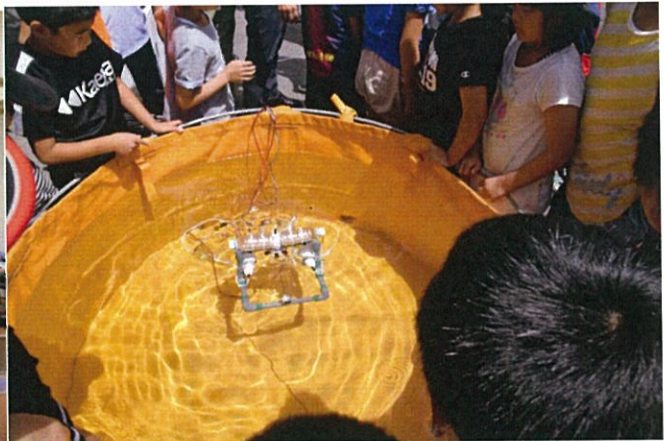


【8月23日、24日 ワークショップ in 五島】



【9月18日 ワークショップ in 伊王島】



# 海洋エネ人材育成へ

## 本県産学官 普及実行委を発足

本県産学官が「海洋再生可能エネルギー普及啓発事業実行委員会」を発足させた。本県が力を入れる海洋エネ関連産業への若者の関心を高めるため、体験型講座や先進地派遣などの事業を展開、人材育成を図る。

策・長崎大教授が就いた。直近では今月6、13日、大学生と高校生計4人を「長崎海洋大使」として先進地の英スコットランドへ派遣、研究施設の見学や関係企業の訪問をしてもらう。23、24両日は五島市で

ペットボトルを使った浮体式洋上風力発電機や水中探査ロボットを作る。県内で広く展開できるように指導者育成や指導マニュアル

県と長崎、五島などの5市町、長崎大、長崎総合科学大、NPO法人長崎海洋産業クラスター形成推進協議会などでつくり、7月27日に発足。会長には経塚雄

アルづくりも進める。いずれも海への関心を高める日本財団の助成事業を活用する。

関係者が4日、県庁で記者会見した。実行委副会長の松岡和彦・長崎総合科学大准教授は「子どもの関心が海そのものから、海洋エネ技術へと広がるように継

ペットボトルを使った浮体式洋上風力発電機や水中探査ロボットについて説明する松岡副会長（右）

県内で広く展開できるように指導者育成や指導マニュアル



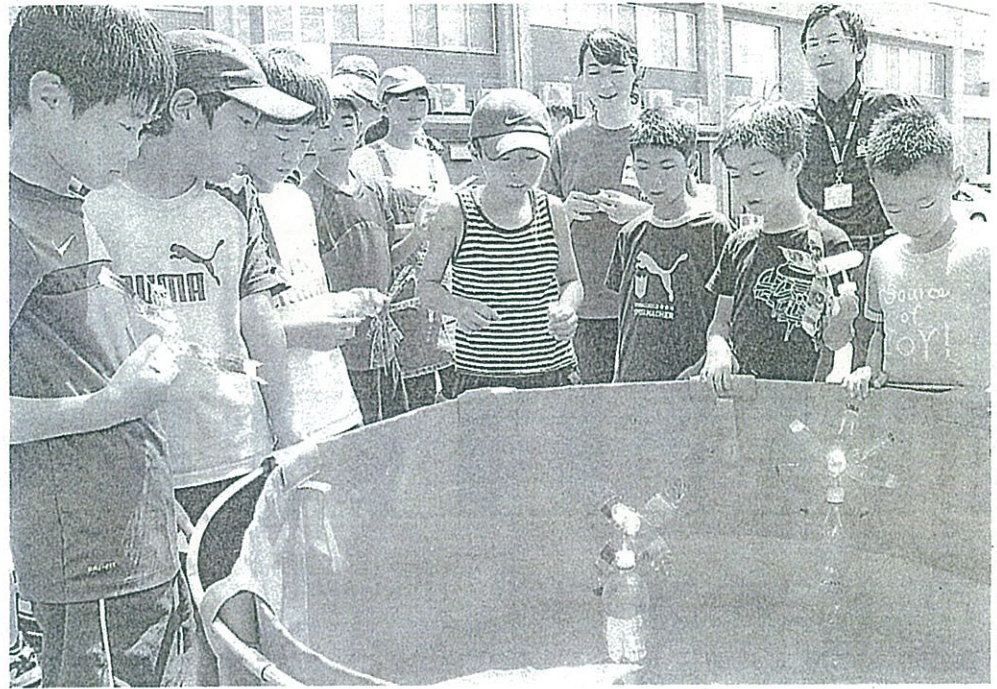
ペットボトルを使った浮体式洋上風力発電機や水中探査ロボットについて説明する松岡副会長（右）  
＝県庁

続的に啓発し、最終的に地元企業で活躍できる人が出てきてほしい。地域の漁協やNPOとも連携していきたい」と展望を語った。  
(田賀農謙龍)

2017.8.8  
長崎新聞

# ペットボトルで浮体式風車模型

## 再生エネへの理解深める 五島



ペットボトルで作った風車を水槽に浮かべる児童ら

五島市吉久木町、五島市消防本部

### ワークショップに児童30人

再生可能エネルギーを学ぶ「海でバランスを保って浮かぶのか試  
を活かす技術のワークショップ」行錯誤していた。

が24日、五島市内であり、小学生  
がペットボトルを使った浮体式洋  
上風力発電機の模型を作った。

NPO法人長崎海洋産業クラス  
ター形成推進協議会が日本財団の  
助成を受けて開催。市内の小学2  
〜6年生の約30人が参加した。

児童たちはペットボトルで風車  
をかたどり、風で回転するとライ  
トがつく装置を製作。ボトルにパ  
チンコ玉を詰め、どうすれば水槽  
にあった。

(石田慶介)

県北  
対馬・岐・五島

佐世保近郊



# 長崎近郊

県南 県央

## 水中探査ロボット できたよ!



水中探査ロボットを組み立て、海の中を観察する教室が18日、長崎市伊王島町であり、地元の小学生が海洋研究の技術や面白さを学んだ。

日本財団が展開する「海と日本プロジェクト」の一環で、NPO長崎海洋産業クラスター形成推進協議会(坂井俊之理事長)が主催。長崎総合科学大の松岡和彦准教授(46)「船舶工学」と学生6人が講師を務めた。

▲松岡准教授(右から2人目)のアドバイスを受けながら水中探査ロボットを組み立てる児童  
＝長崎市、やまぎ伊王島

### 伊王島小児童 海洋研究の技術学ぶ

教室には市立伊王島小の児童8人が参加。児童は塩ビパイプやペットボトルなど身近な部品でロボットの枠組みを作り、スクリーンや防水カメラなどを取り付けてロボットを完成させた。ロボットは近くの漁港岸壁から海へ投げ入れ、カメラで魚などを観察した。

(田下寛明)

### 高齢者の安全安心 寸劇で 浦上署、住民ら400人参加



特殊詐欺の手口や対策について熱演した浦上署員による寸劇  
＝長崎市、チトセピアホール

浦上署は19日、高齢者が事件事故に遭わないように呼び掛ける「安全安心祭り」を長崎市千歳町のチトセピアホールで開いた。同署管内の住民ら約400人が参加し、楽しみながら防犯や

防災の意識を高めた。災害や110番のかけ方などの講話後、同署の若手警察官でつくる劇団「ピース」が、特殊詐欺をテーマにした寸劇を披露し、手口

販売センターへの  
ご用は下記電話に

<長崎市>  
田上・茂木(895-5810)

谷(848-6273)  
吉(848-6338)  
平(847-3872)  
道の尾・滑石(856-2482)  
滑石西部(855-6711)  
浦上・平和(846-7311)

本社報道部 (095)46-6660  
西彼中央支局 (095)88-7661

# 入め

多くの人に西海市を訪れてもらおうと、市内のハンドメイド作家の女性7人でつくるプロジェクトグループが23日、西海市西彼町伊ノ浦郷の「西海つ丘」で、手作りの雑貨の展示販売を中心とするイベント「さいかいプレイスマ



さいかいプレイスマーケットのチラシ

から、仕事や家事、育児などの合間を縫って月1回集まり、イベントの企画立案など進めてきた。山みほ代表は「できることを自分たちでやりながら、周りを巻き込んで

市民や留学生ら250人

